

私達が体験した国際交流

“食文化” “ALTと留学生” “日本スリーデーマーチ”

国際・文化学部A班



富田和子 C小澤恒介 関口喜明 △斎藤善重 川合秀之 ◎西田勝美 ◎小嶋正歳
藤倉裕子 工藤幸江 北村佳世子 石川房子 □木崎光枝 ◎清水川弘美
(◎：リーダー、○：サブリーダー、C：キャップ、□：書記、△：会計)

目次

1. はじめに
2. 世界の食文化
3. ALT（外国語指導助手）と留学生の意識調査
4. 日本スリーデーマーチ
5. 課題研究を終えて

1. はじめに

1-1. テーマ選定理由

私達A班は『国際交流』をキーワードにテーマ選定の検討を重ねた結果、テーマを一つに絞ることなく、複数のテーマで各々が課題研究を進めることにしました。結果として3チームで3件のテーマに取り組みました。

① チーム：世界の食文化

世界のあらゆる地域において固有の食文化が息づいていますが、中でも最も愛されている5つの料理について、食を体験しつつ食材・レシピや食に対するマナーや風習などを研究の主眼として、このテーマを選定しました。

② チーム：ALT (Assistant Language Teacher) と留学生の意識調査

国際交流・異文化共生・支援を目標と意識しつつ、まずは地元に住むALTと留学生を対象に、日本及び日本人に対する意識を把握し、国際交流に役立てることを目的にこのテーマを選定しました。

③ チーム：日本スリーデーマーチ

私たちの地元で行われる、日本最大の国際色豊かなウォーキング大会である日本スリーデーマーチを通して、海外からの参加者と国際交流の実体験を目的にこのテーマを選定しました。

1-2. 活動経過

活動日	活動内容
1月23日	A班メンバー決まり、キックオフミーティング
2月28日	東松山市国際交流協会を訪問し、事業のレクチャーを受ける
3月13日	テーマ選定討議及び班を3チームに分けての取り組みを決定
3月27日	各チームそれぞれで課題検討
4月 3日	各チームのキャップ選出とメインテーマ名の再検討確認
4月17日	各チームの活動予定報告と既定日程の1か月前倒し確認
5月 8日	各チームの進捗報告と確認
5月11日	東松山市国際交流協会総会出席 (各キャップ)
5月29日	出前講座『多文化共生と国際交流』を全員で受講
7月10日	各チームの進捗報告と相互確認及び日程細部の再確認
9月 5日	班原稿素案9/30提出期限を確認及びレポート作成細部確認
9月11日	メインテーマ名(案)の再検討
9月25日	メインテーマ名及びサブテーマ名の決定及び日程細部確認
10月23日	A班メンバー全員でレポートの内容を相互確認
11月 6日	A班メンバー全員でレポートの最終確認
11月29日	レポート提出

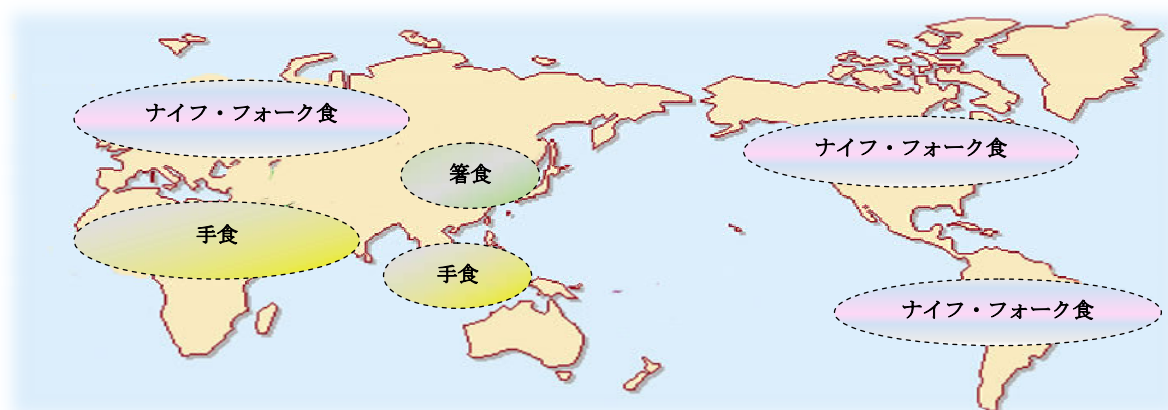
2. 世界の食文化

①チーム 小澤、石川、木崎、富田、藤倉

「食」は人が生きていく上で欠く事の出来ない重要な営みの一つであり、世界中のあらゆる地域において、それぞれ固有の食文化が息づいています。約 71 億の人々が地球上に住んでいると言われていています。その 71 億人の食事方法を大きく分けると、手を使う、箸を使う、ナイフ・フォークを使って食事をする「手食」「箸食」「ナイフ・フォーク食」の3つがあります。

食 法	地 域	人 口
手食文化圏	東南アジア・中近東・アフリカ	2 7 億人
箸食文化圏	中国・朝鮮半島・日本・台湾	2 2 億人
ナイフ・フォーク食文化圏	ヨーロッパ・南北アメリカ・ロシア	2 2 億人

手食文化圏＝インド。箸食文化圏＝日本、中国。ナイフ・フォーク食文化圏＝フランス、ブラジル。これらの国々の、地域にねづく料理を食しその食文化にふれるのも、国際交流の一環と思い抜粋して、食文化、マナーを課題に選びました。



日本人ビックリ！世界の食マナー

マナーとは、思いやりの心です。同席者に不愉快な思いをさせないでいかに楽しく美味しく食べるかです。オーソドックスな食事マナーは各国ごとに記載しています。日本では普段何気なくやっている行為でも、外国ではタブーとされる行為がたくさんあります。例えば

- ・大きな声で、ウェーターを呼ばない。鼻をすするのはタブー。
- ・食事中に、人前に手を伸ばさない、近くの人に取ってもらう。
- ・韓国・中国料理を食べる時、皿は持たないのが基本です。韓国では皿を持って食べると「泥棒食い」と年寄りから言われます。
- ・台湾・中国・朝鮮半島・フィリピン・ベトナムでは食事は必ず残さないとNG。
- ・インドでは物を渡すときは絶対左手を使わないこと。
- ・シンガポールではガムを食べない。(持ち込む事も厳禁)

恥をかいたり、トラブルに巻き込まれないようにしたいものですね。

2-1. ブラジル食文化 体験日：4月3日

カップインドゥラード（ブラジル専門の雑貨・食材・レストラン）のオーナーである村元社長にブラジル食文化について説明して頂きました。2011年にはきらめき市民大学で、講演をされています。ブラジルは日本の22倍の広大な



ブラジル店



シュラスコ

移民の国。世界中の食べ物が溶け込んで、独特な味を作り出しています。ブラジルのグルメ郷土料理といえば、豆の煮込み料理「フェイジョアーダ」やブラジル風バーベキュー「シュラスコ」が主です。

シュラスコは大勢（一族郎党）で食べに行き、テーブルを囲み長い串にぶつ切りの牛肉・鶏肉など様々な肉を刺し、炭火で焼きます。一串の重さは300g近くもあり、ビールとともに豪快に食べます。週末になると、友人や家族を招き大量に肉とお酒を手にと歌って踊って楽しんでいます。

豆の煮込み料理「フェイジョアーダ」はまだブラジルに奴隷制があった時代、船で黒人達が、主人が食べ残した豚の足・耳・内臓を黒豆と一緒に煮込んで食べていた料理で、美味しく、スタミナ満点料理です。今では料理に時間がかかるのとコストも割高なので、週末や祝いごと、特別な時に食べます。



フェイジョアーダ



ピンガ

ブラジルを代表する飲み物と言えばコーヒー、お酒ではサトウキビの蒸留水ピンガ（カチャーサ）が有名です。ライムと砂糖をふんだんに使用しているカクテルです。とても飲みやすいのですがアルコール度が高いので飲み過ぎないように、要注意です。

甘いブリガディオは結婚式・誕生日などお祝い時の必需品とされている、ビー玉ほどの大きさの丸いチョコレートで、ブラジルの代表的なスイーツです。子供から大人まで大人気です。

テーブルマナー：ブラジルでは楽しく食べることが基本ですが、注意したいことはお店に入って人を呼ぶときには、人さし指を立て会釈をします。食べ物を切るのはナイフのみで、フォークを使うのは無教養、手



ブリガディオ



食事中的サイン

や指で食べ物をつかむのは不衛生とみなされます。サンドイッチやフルーツでもナイフで切って食べて下さい。食べ物をナイフで切った後には、ナイフの先をお皿の上に、持つ部分をテーブルに置き、フォークを使って食べます。

ブラジルでは、指をまるめてOKサインは、なんと侮辱のジェスチャーで、OKサインも世界共通ではなかったようです。

2-2. フランス食文化 体験日：4月20日

2010年に食の世界遺産に登録。内容は、出産・結婚・誕生日等の生活における最も重要な時を祝うための社会的慣習・特定の料理ではなく、より美味しく食事をするという美食の慣習とのことです。そして、フランス料理は、世界三大料理に数えられるほどの、世界を代表する料理です。大切な会合の晩餐会などに、用意されることが多いようです。複雑なテーブルマナーなどがあるため、少し敷居が高いような気がしませんか？ レストランでの食事は、日本であろうとレディーファーストが定番です。接待などの特別な場合を除きますが、基本的に全て女性が先です。入店・着席・食事を食べ始めるのも女性が先です。席も女性が一番美しく見える席に座り、男性は傍で引き立てます。入店したら席に案内されるのを待ちます。案内されてテーブルが決まっても、着席する椅子を自分で選ぶことは出来ません。椅子も引いていただくの



セッティング

で、椅子の左側から入り、静かにタイミングよく座ります。座りましたら両手をブラリと下げないで、軽く手を組んでテーブルの上に置きます(肘は着けない、体とテーブルの間)。手の甲を相手に見せるということは「貴方に危害を加えるつもりはありません」という意思表示といわれています。着席したら次は、ナプキンに対応します。ナプキンを二つ折りにして、折山が自分の腹側になるように掛けます。

ワインのテイスティングは、味見や試食とは全く違います。品質に間違いがないか確認するためです。ワイングラスは持たないで注いでもらうのが鉄則です。手を添える必要もありません。乾杯はグラスを合わせない(高価なグラスに、傷をつける恐れがあるから)で胸の高さで乾杯します。



乾杯

グラスとナイフ・フォークの使い方：テーブルにセットされているナイフ・フォークは、外側から使えば間違いないが、問題はグラスの使い分けです。一番大が水用、中グラスが赤ワイン用、小さいのが白ワイン用、底が大きく足が短いのがブランデー用。

フランス料理のメニュー：料理の出る順番が決まっています。「オードブル・スープ・魚料理・肉料理・サラダ・デザート」の順で出てきます。このようなコースをフルコースと言います。



フルコース

スープの飲み方：スプーンを奥から手前にして頂きます。イギリス式は逆にスプーンを手前から向こうにすくいます。



スープ

肉料理の食べ方：左から一口分ずつ切りながら口に運びます。一度に全部切るのはマナー違反です。右手にフォークを持ち替えて食べるのは、正統派のお店や高級レストランでは避けた方が無難です。

祝事にはフランスの家庭ではポトフ(牛肉のワイン煮込)や鶏や仔羊のローストなどがよく食卓に並びます。普段の食事はオムレツやサラダ、サンドイッチ、ステーキなどがよく食べられています。

2-3. インド食文化 体験日：5月10日

日本の約9倍の国土を持つインド。インド料理を大雑把に分類すると北、南インド



マハラジャ

料理に分けられます。フランス・イタリア・中国・日本などと並ぶ世界的な料理で、特徴はスパイスを多用します。「インドの主食はナンである」と思っていますか？ナンは、ダンドールオーブン（土釜）で焼きます。一般の家庭には



チャパティ

ありません。ですから、インドでも日本同様、ナンは「テイクアウト」か「レストランで食べるもの」なのです。一般家庭では鉄板で焼いたチャパティが家庭の主食として用意されることが多いです。このチャパティ作りはインドでは「花嫁修業必修科目」となっています。世帯数が多いので、一回の食事につき30枚位作ります。カレーをナンで食べるのが主流の北インド料理に対して、南インド料理はお米のご飯で食べるのが主流で、ご飯をカレーと一緒に右手で混ぜながら食べます。



南インドの子供達

正餐（ミールス）はバナナの葉を皿がわりにし、飯・サンバル・ラッサム・ヨーグルト・アチャール・チャトウニー等を盛り付けて、手で混ぜて食べます。左手を使うのはジータ（穢れ）とされています。

一緒に手で食べると喜びます。

日本では、お祝いの席と言えば「赤飯」ですが、インドでは「甘いお菓子」なのです。「パルフィ」が代表的です。

日本では、引っ越しと言えば「引っ越しそば」ですが、インドで引っ越し・新築のお祝いには「キチュリ」や「ミータイ」と呼ばれる、ピラフを作ります。一般的なお祝いには「モティチュラド」（甘いお菓子）がよく振る舞われています。ガネーシュ「像の神様」の1番の好物と言われています。インドの定食と言



キーママサラ

えば「タリー」。真ん丸、あるいは四角い皿にいくつかの仕切りがあって、それぞれご飯やチャパティ、カレー数種類などが盛られる。バスが停車するド



タリー（定食）

ライブインや列車の中で、インド中どこに行っても食べることが出来ます。北インドのカレーは、生クリームやナッツがふんだんに使われ、ドロドロしていてリッチでクリームなどが多く、主食のナン、チャパティなどのパンと相性が抜群です。タリーは南インドでは、ミールスと呼んでいます。南インドのカレーはシャバシャバ（水っぽい）で、乳製品よりココナツを使うことが多く、また、スパイスも北インドのクミンの代わりにマスタードの種やカレーリーフを用います。油はギーよりもマスタードオイルや胡麻油が多く使われます。南インドはベジタリアン料理が多いので、北インドに比べるとヘルシーです。

2-4. 台湾食文化 体験日：6月9日

「中国料理」は総称であり、中国料理の中には北京・上海・広東・四川・福建などがあります。台湾料理は地域限定された料理名称です。福建、四川料理をアレンジしたもので、各種中国料理が美味しく食べられるのが台湾料理だと言われているので、取り上げることにしました。



大テーブルを
皆で囲んで

中国料理でのマナーに拘ることはありません。中国料理を食べる上での心得として、大きなテーブルで、大人数で食べるのが基本の中国料理だからこそ、一番のマナーは「楽しく食べる」ことです。

大皿から料理をとるときも、自分の箸やレンゲをそのまま使えばいいし、逆さ箸も無用。テーブルに置かれた調味料はなるべく使わず、出された料理の味をそのまま楽しむ方がよいでしょう。皿は手に取らないようにし、麺類は音をたてず、スープはレンゲで飲むこと。取り皿は、どんどん替えましょう。同じ皿で色々な料理を食べるとソースの味が混ざってしまい、本来の美味しさを損なってしまいます。これは、逆に作った人に失礼にあたります。台湾料理も星の数ほどありますが、



大根餅

やはり定番の家庭料理と言えは酸辣湯（サンラータン）と大根餅です。酸辣湯は片栗粉と酢をベースに季節の野菜をふんだんに使った料理で、トロツとしたスープに野菜が絡まって、お酢の酸味とマッチして口の中で深い味わいが広がる。高価ではなく、ヘルシーの為、大変人気があります。大根餅は、食感は餅のような感じですがなんとなく不思議な味で、病み付きになる一品です。



サンラータン

お祝い時に食べる料理として、海老は腰が曲がるまで長生きできますように。フカヒレは「魚翅」と書きます。飛ぶことを意味しますので「出世」や「商売繁盛」。アワビは開運、色々なお祝い時に、食べられています。おせち（年菜）料理には魚料理が多く使われています。数あるご馳走のなかで、唯一全部平らげてはいけないのが魚。余裕があるという中国の発音と魚の発音が同じで、魚をわざと残すと新しい1年は余裕のある年が過ごせると言われています。

中国系の人に招かれたパーティーでは、食事を残すのがマナーです。中国では客人を招く際、できるだけ沢山の料理でもてなす風習があります。食事を残すことは罪悪感を抱くかもしれませんが、マナーとして割り切りましょう。あからさまに残すのは良くありません。「わずかに残す程度」がポイントです。「レンゲですくいきれない程度の量を」残し、「食べきれないほど、美味しく頂きました」と言うサインになります。



■取り皿は持ち上げないのがマナー



■麺類、左手にレンゲを持ち少しずつすくって食べると、音をたてないで食べられる



■スープもレンゲですくって飲もう

2-5. スペイン食文化 体験日：6月28日

スペイン固有の料理であり、イベリア半島の山の幸と地中海の海の幸をよく生かした料理で知られています。スペインは地方によって、気候や風土・文化・習慣が異なる為、スペイン料理とひとくくりには出来ません。共通点としてはオリーブオイルやニンニクを使うこと。北部のガリシア、バスクなどは魚介類の煮込んだ料理、カステイリヤでは焼き物料理、アンダルシアでは揚げ物料理、フランスに近いカタルーニヤなどはフランスに近い料理が作られています。スペイン東部の地中海沿いのバレンシアではパエリアが有名です。「スペインに行ったらパエリアを食べたい。」日本と言



パエリア パーティー

えば「寿司」、スペインと言えば「パエリア」、それくらい国際的に有名で人気のある食べ物です。庶民的で気取りの無い、おふくろの味を代表する家庭料理で、誕生日・記念日・お祝い時には必ず料理されます。白身魚・海老・ムール貝・アカザエビ・イカなどの魚介類を用いたパエリアは有名ですが、バレンシア風パエリアは兎肉・鶏肉・カタツムリ・インゲンマメ・パプリカなど山の幸を中心に用いて作ります。バレといわれ、専用のパエリア鍋（両側に取手のある平底の浅くて丸いフライパン）で調理する米料理で、たっぷりの具を炒めて、米と水、黄色の着色料としてサフランを加えて炊き上げます。蓋をせずに、具を蓋の代わりにして炊き上げるのが一般的です。

2-6. まとめ

インド・ブラジル・フランス・台湾・スペインの5つの料理を選択し、お店のオーナーより料理の由来を聞いたりして有意義に楽しく料理の体験をしました。また、6月22日東松山国際交流協会主催の“料理を通じて異文化を体験しよう”という催しでアメリカ出身の留学生から“ちょっと意外なアメリカ料理”を教えてもらい、作って食べました。

日本では何気ないマナーでも、外国人ではタブーな事もあり、知っているようで知らないマナーも確認できたこと。又、それぞれの国の独特な料理も日本に上陸すると、日本人の口に合うような味になっていることで、日本の食も国際色豊かになっています。今回、世界の食文化を課題研究として取り上げてよかったと思いました。協力していただいたブラジル料理・カッピンドゥラード、フランス料理・セヴレ 39、インド料理・マハラジャ、台湾料理・王府、スペイン料理・スペイン亭、各お店のオーナー、国際交流協会、地域生活部の皆さんには大変お世話になり有り難うございました。

※出典：インターネット HP 「ウィキペディア」、「世界の三大食作法」、「素材のちから」、「毎日そそるヒラメキを」、他

参考文献：「食の文化を知る辞典」岡田哲 東京堂出版

3. ALT（外国語指導助手）と留学生の意識調査

②チーム 小嶋、川合、齋藤、西田

3-1. 目的

②チームは国際交流・異文化共生・支援を目標と意識しつつ、東松山地域に住む（または勉強している）外国人を対象として、日本および日本人に対する意識を把握し、国際交流の活動に役立てることを目的としました。

3-2. 調査の対象

- A. 東松山市の小中学校において英語を教えている ALT 10 人の授業参観とインタビューにより、日本および日本人に対する意識を調査しました。
- B. 大東文化大学、東京電機大学、武蔵丘短期大学の留学生 34 人全員へのアンケートと一部学生へのインタビューにより同様の意識調査をしました。

今回の調査の対象は学校教育関係者に偏っていますので、一般外国人対象の意識調査結果とは多少異なる結果が出ているかもしれませんが、直接意見を聴くことができたのが非常に有益だったと考えています。

3-3. 活動経過

月	日	曜	活 動 内 容		
4	23	火	松二小	マイケル・リガスピ先生	授業参観
	26	金	唐子小	マイケル・リガスピ先生	インタビュー
	30	火	東中	ジェームス・ドーソン先生	授業参観・インタビュー
5	7	火	松一小	リアナ・ホーランド先生	授業参観・インタビュー
			東中	ジェームス・ドーソン先生	インタビュー（続き）
	10	金	南中	ジョージ・アグラス先生	授業参観・インタビュー
	13	月	新宿小	シャーリー・コックス先生	授業参観
			新明小	ジョシュア・カリー先生	授業参観・インタビュー
	17	金	松山中	スティーブン・グラム先生	授業参観・インタビュー
	20	月	北中	アレックス・クレン先生	授業参観・インタビュー
	21	火	白山中	ジョエル・リプトン先生	授業参観・インタビュー
	28	火	市の川小	ジェイ・トラウブ先生	授業参観・インタビュー
30	木	大東文化大	アンケート依頼		
6	6	木	青鳥小	シャーリー・コックス先生	インタビュー
	13	木	大東文化大	アンケート実施・回収	
7	1	月	武蔵丘短大	アンケート依頼	
	4	木	東京電機大	アンケート依頼	
	9	火	武蔵丘短大	アンケート回収・インタビュー	
			東京電機大	アンケート回収	
7/24~9/25			アンケート集計、レポート検討・作成作業		
9	26	木	②チームのレポート素案提出 以降A班全体のレポート確認・修正		

3-4. ALT (外国語指導助手) の授業参観とインタビュー

3-4-1. 授業参観

東松山市教育委員会に私たち課題研究の趣旨をご理解いただき、市内小中学校のご協力を得て、4月から5月にかけて ALT 全員 (10 人) の授業参観とインタビューを実施しました。

授業参観したすべての学校で ALT の皆さんの取り組みが非常に熱心であり、ネイティブな英語の授業を受けている生徒たちの活発で楽しそうな授業態度が非常に印象的で、感激しました。



授業参観 (新明小)

3-4-2. インタビュー

ALT 全員 (10 人) に 69 項目の質問に回答いただきました。



授業参観 (松一小)

課題研究 A 班チーム② "国際交流と"		
項目Items	No	
個人情報 Personal information	1 国籍	37 好きな料理
	2 出身地 (都府、地方都市、農漁村)	38 食べられないもの
	3 来日以前の職業	39 不思議な体験
	4 年齢 (可能な限り)	40 自宅での生活
	5 学歴	41 日本食に慣れたこと
来日の理由 Reason for visit to Japan	6 日本滞在期間	42 関心あり
	7 ALT になった理由	43 養育 (養育者)
	8 日本以外での ALT の選択校	44 音楽
	9 もしイエスならなぜ日本を選んだか	45 雑学
	10 日本での滞在予定期間	46 芸術
日本の印象 Impression of Japan	11 来日前の日本のイメージ	47 理解度
	12 来日して驚いたこと	48 体験したこと
	13 来日前後での大きな相違	49 現在の生活の真実感
	14 日本 (日本人) の良いところ	50 物価
	15 日本 (日本人) の理解出来ないところ	51 出身国を 100 としたら日本を何と評価するか
	16 日本 (日本人) の印象を一言で言えば	52 現在の住居 (家、アパート、賃貸、他) House/Dormitory/Apartment/Rented house
	17 日本が好きですか	53 治安をどう感じていますか How do you feel the security in Japan?
	18 本国以外で最も好きな国は	54 日本の習慣で最も異なる点 Most different than the custom of yours in a Japanese custom
日本語 Japanese language	19 日本語をどこで学んだか	55 苦労したこと Hard experience
	20 どうやって学んだか	56 戸惑ったこと Puzzled experience
	21 日本語での会話のレベル	57 どうしても慣れないこと Custom not to be used to
	22 漢字、ひらがな、カタカナ	58 不便なこと Inconvenient things and/or matters
外国語 Foreign language	23 日本語はどんなところが難しいか	59 日本の公共サービスは How do you feel the public service of Japan?
	24 日本語に関するエピソード	60 日本の公衆道徳は How do you feel the public morals in comparison with your country?
	25 母国語、日本語以外の外国語は	61 日本の英語教育をどう思いますか How do you think English education of Japan?
日本人との交流 Interchange with the Japanese	26 外国語をどこで学んだか	62 日本の英語教育を改善する提言 Suggestion to improve English education of Japan
	27 外国語をどのようにして学んだか	63 最も力を入れている英語教育は What is the biggest point you lay on the English education?
	28 友達 (学校、学校以外)	64 英会話を上達するコツ The art of the English conversation progress
	29 日本人の友達・男女何人ほど	65 仕事のやりがい Worth doing of the job
	30 日本人の友達との会話	66 生徒たちの反応 Reaction of children
	31 学校以外で日本人との交流	67 契約終了後の予定・希望 Your hope or plan after the contract end
日本人との交流 Interchange with the Japanese	32 有りの場合交流の内容	68 もし帰国の場合は又来日希望? If you must leave Japan, do you hope to come again?
	33 国際交流協会との交流	69 将来子供を日本に留学させたい Do you want to let a child study in Japan in the future?
	34 地域の行事・イベント・祭り等へ参加	
	35 日本スリーパーマナーへの参加	
36 日本人との交流に関するエピソード		
日本の料理と食べ物 Japanese dishes and food		
日本の文化 Japanese culture		
日本での生活と習慣 Life and custom in Japan		
日本の英語教育 English education in Japan		
仕事 Your job		
契約終了後 After the contract end		
コメント		

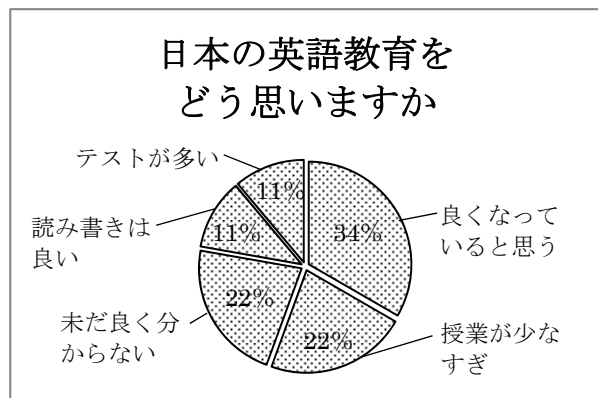
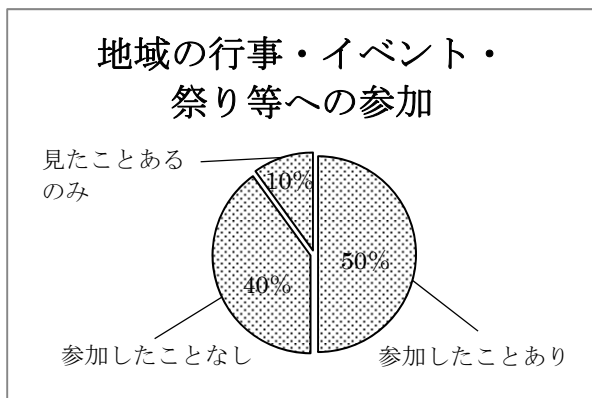
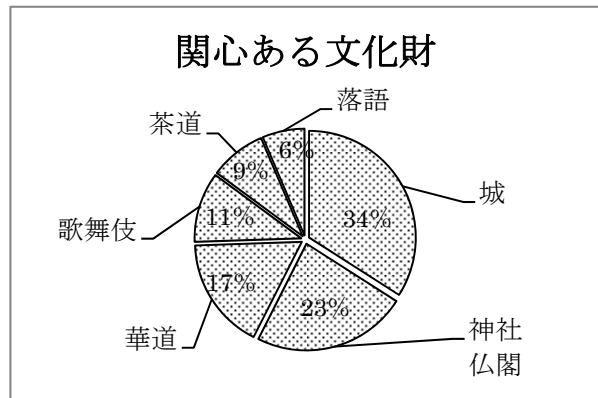
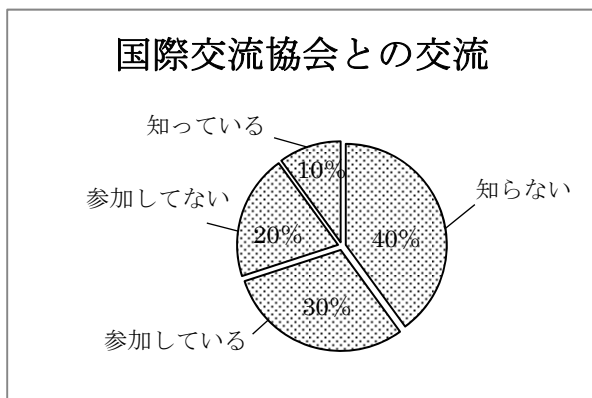
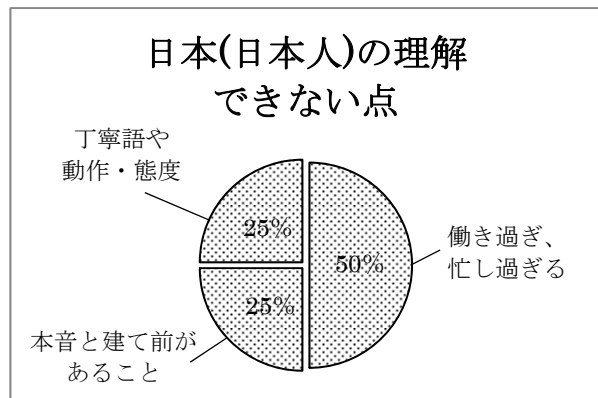
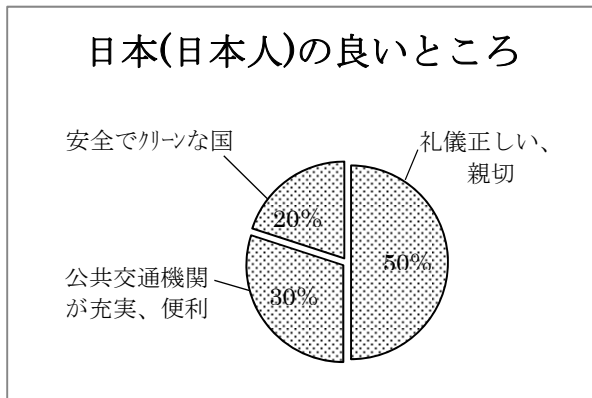
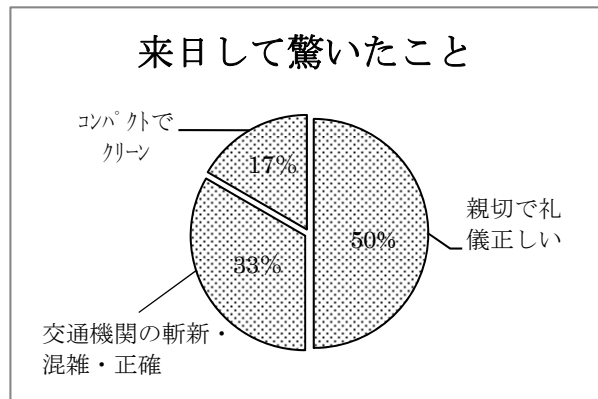
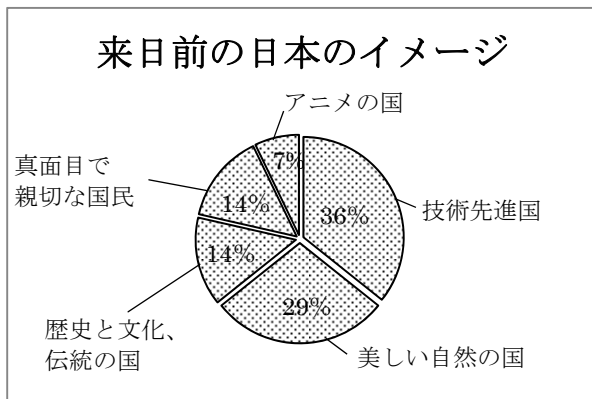
男性：8人 女性：2人

アメリカ：5人、イギリス：2人
カナダ：1人、フィリピン：1人
ガーナ：1人
合計：10人



インタビュー (東中)

3-4-3. ALT のインタビュー結果 (抜粋)



※アンケート結果は紙面の都合上、日本（日本人）に対する意識を最も端的に示す項目のみ上記円グラフで掲載しました。

3-5. 留学生のアンケート調査

3-5-1. アンケート

大東文化大学 23人、東京電機大学 10人、武蔵丘短期大学 1人、合計 34人の留学生から 24項目の質問の回答を得ることができました。

男子：15人、女子：19人

中国：25人、マレーシア：2人

その他の国：7人 合計：34人



アンケート (大東文化大)



アンケート (大東文化大)

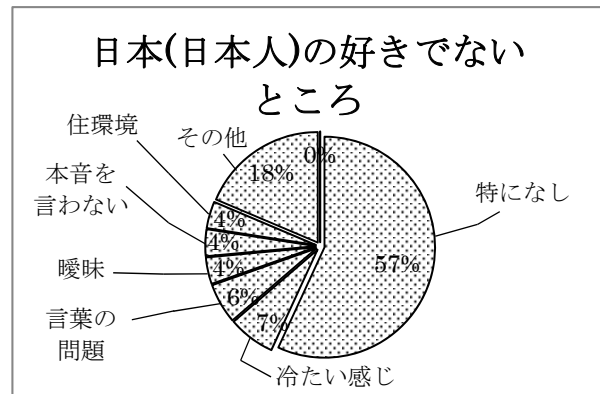
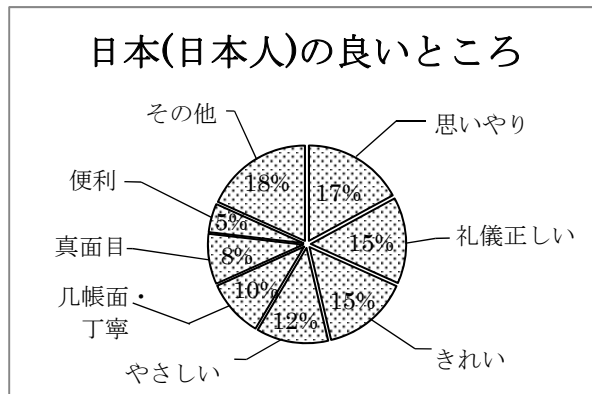
アンケートにご協力お願いします

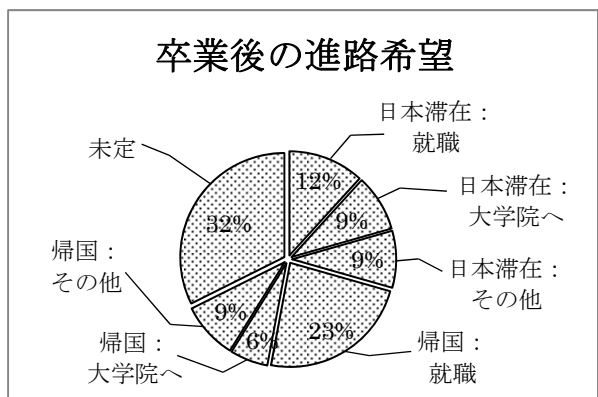
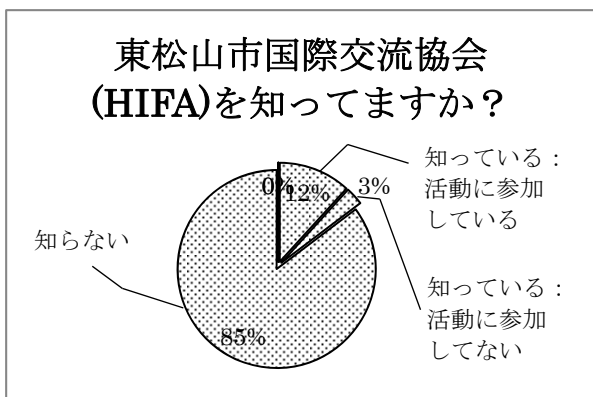
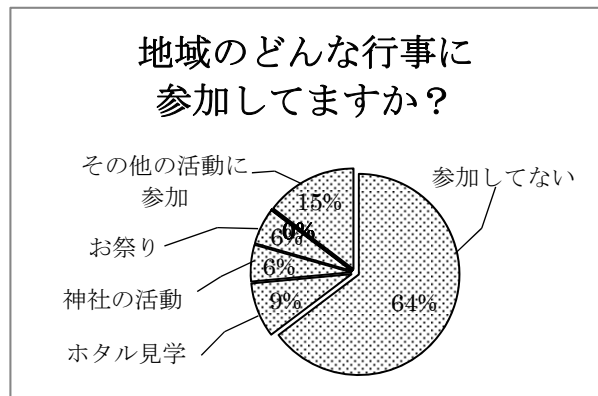
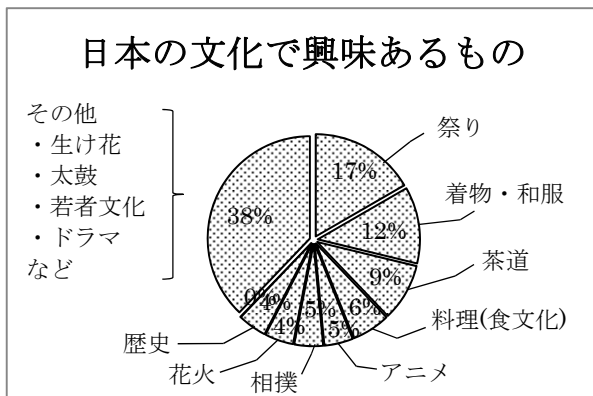
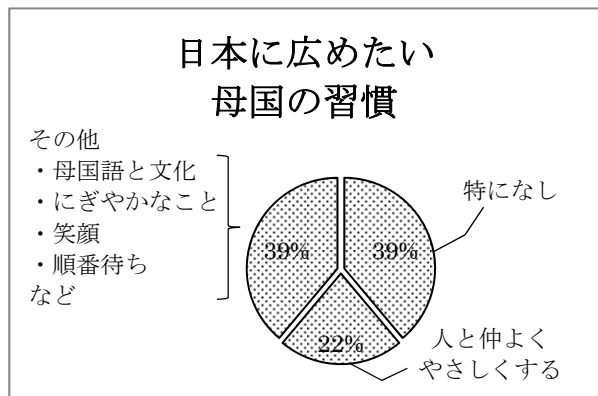
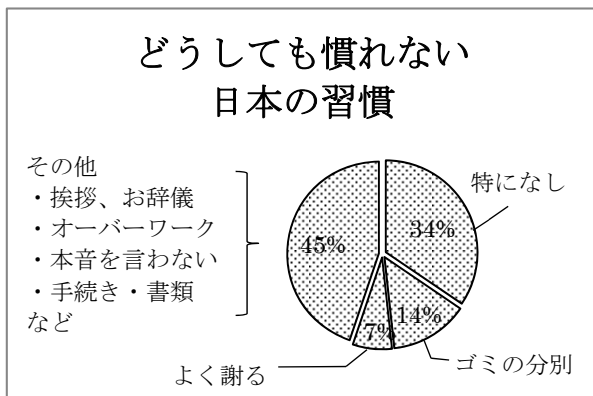
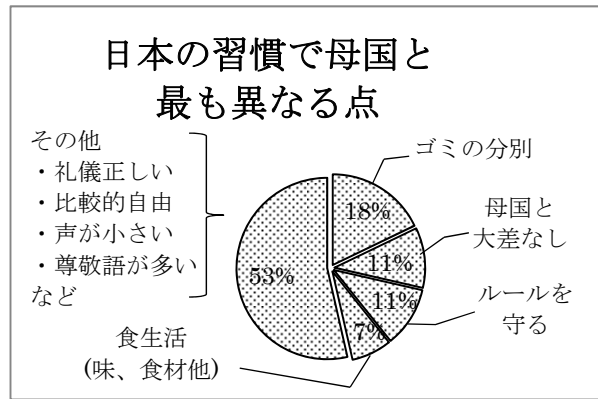
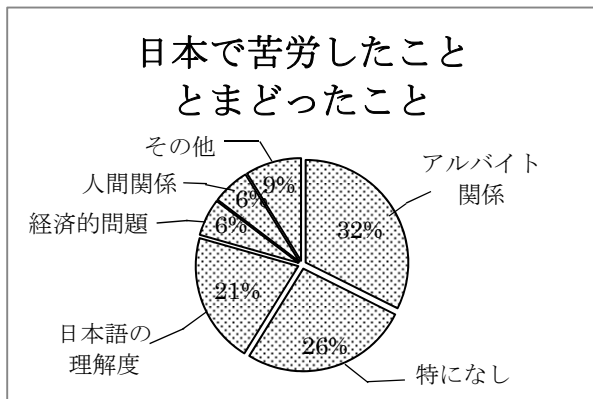
No.	質問	回答欄
1	性別	男・女 (どちらかを○で囲む)
2	国籍と出身地	国籍
3	学年と専攻	学年
4	日本の滞在期間	年 月
5	留学生を日本に決めた理由	
6	この大学を選んだ理由	
7	来日前の日本の印象	
8	来日後、上記7の印象と異なっていたことは	
9	日本(日本人)の良いところ	1位: _____ 2位: _____
10	日本(日本人)の好きになれないところ	1位: _____ 2位: _____
11	日本語をどこまで学びましたか	母国(_____)、日本(_____)
12	日本語のレベル	基礎レベル・日常会話レベル・上級レベル
13	母国語、日本語以外で話せる外国語	
14	好きな日本の料理・食べ物	1位: _____ 2位: _____ 3位: _____
15	食べられない日本の料理・食べ物	1位: _____ 2位: _____ 3位: _____
16	日本で苦労したこと・まどったこと	
17	日本の習慣で母国と最も異なる点	
18	どうしても慣れない日本の習慣	
19	帰国しても継続したい日本の習慣	
20	日本に広めたい母国の習慣	
21	日本の文化で興味のあるもの	1位: _____ 2位: _____ 3位: _____
22	地域の行事に参加しますか?	参加している(何に参加していますか?)・参加していない
23	HIFA(*)を知っていますか?	知っている・参加している(その行事は: _____)・知らない
24	卒業後の進路希望	帰国する(何をしたい?)・帰国しない(何をしたい?)・未定
25	コメントがありましたらお願いします:	

ありがとうございました

*1: HIFA: Higashimatsuyama International Friendship Association

3-5-2. 留学生のアンケート結果 (抜粋)





※アンケート結果は紙面の都合上、日本（日本人）に対する意識を最も端的に示す項目のみ上記円グラフで掲載しました。

3-6. インタビュー・アンケート結果について

日本の印象については“先進技術”、“時間に正確”、“礼儀正しい”、“親切”、“安全”、“きれい”など、好感を持っているようですが、やはり“本音と建前がある”、“忙しすぎる”、“冷たいところがある”など、不満に感じるところも指摘されています。又、実生活においてはゴミの分別などルールを守る国民性に感心した様ですが、皆さんが自国へ帰って日本で学んだ習慣の一つとして実践してくれることを期待します。ALTから見た小中学校の英語活動に関しては“授業が少ない”、“テストが多い”などの意見が寄せられました。文部科学省の方針では現在のALTによる英語活動を教科に格上げし、授業時間も増やす様でALTの皆様にも納得してもらえるのではと思います。

食事、文化、建造物等については皆非常に興味を持っていますが、東松山市国際交流協会の認知度は低く、イベントなどに参加している人は一部の人だけで、残念な結果になっています。日本語の難しさ、文化的な違い、などから国際交流の難しさが改めて窺えました。

3-7. 今回の活動の考察・反省

課題研究の開始当初は国際交流協会などの活動を通して、市内在住の約1,500人の外国籍市民の支援活動を検討しましたが、先輩達の素晴らしい研究報告と重複しない方向での課題ということで、私達はALTと留学生に直接アンケートやインタビューを実施し、外国人理解の第一歩である外国人から見た日本・日本人に関する意識を探ってみました。

今回のアンケート対象はALT 10人と留学生 34人で、教育関係者のみでしたので、結果に偏りがあるかもしれません。他の分野の人たちなどもっと多くの意見を収集できればより広範な外国人の思いが理解できたと思います。

【協力機関】

下記の皆様にご協力いただきました。お礼申し上げます。

東松山市 教育委員会

東松山市 松山第一小学校、松山第二小学校、新明小学校、市の川小学校、
唐子小学校、新宿小学校、松山中学校、南中学校、東中学校、
北中学校、白山中学校

東松山市役所 文化スポーツ課

東松山市 国際交流協会

大東文化大学

東京電機大学

武蔵丘短期大学

東松山市 きらめき市民大学 事務局



4. 日本スリーデーマーチによる国際交流

③チーム 清水川、北村、工藤、関口

【日本スリーデーマーチとは】

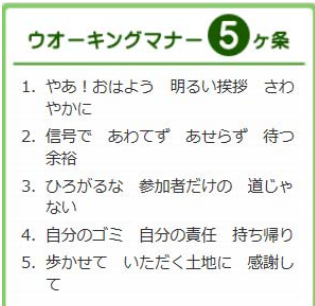
1978年に始まった3日間のウォーキング大会で、現在は自分の体力にあわせて、50km・30km・20km・10km・5kmのコースの中から自由に選んで歩く事ができます。スタート時間はそれぞれのコースにより決まっており、途中のチェックポイントでチェックを受けて午後5時までにゴールすれば完歩です。自分のペースで、全国や世界のウォーカーと秋の比企丘陵を見ながら歩くのが、日本スリーデーマーチです。



2013年11月2日（土）、3日（日）、4日（振休）の3日間、開催されました。

4-1. テーマ選定理由

東松山市は、「花と歩け（ウォーキング）の国際平和都市」を宣言しており、毎年11月に開催されている「日本スリーデーマーチ」（以下、スリーデーマーチ）は日本最大、世界でも第2位の規模を誇るウォーキングの祭典です。毎年平均して、国内外から、市の人口約9万人に迫る約8万人の参加者が集っています。2013年で36回目を数えたこの国際色豊かな大会は大変素晴らしく、私達、国際・文化学部A班③チームの4名はスリーデーマーチに参加して、海外からの参加者と積極的にコミュニケーションを行い、国際交流を実体験することを研究テーマにしました。（2013年、36回大会の参加者数は、3日間合計で101,973人でした。）



4-2. 事前活動

4-2-1. 参加登録

まず、スリーデーマーチに参加するには登録する必要があります。大会前の事前登録では、市役所やインターネット申込みの他、金融機関でも受け付けてくれます。また大会当日に会場で1日単位での登録も可能です。私達はきらめき市民大学の学生として、団体での事前申し込みをしました。



【画像出典】東松山市ホームページ

4-2-2. 参加コースの確認

スリーデーマーチのコースは3日間、すべて違うルートが用意されています。東松山市に居住していますが、せっかく参加するからには、③チームのメンバー全員があまり馴染のない、1日目の「和紙の里・武蔵嵐山ルート」と3日目の「都幾川・千年谷公園ルート」に参加することにし、実際にコース確認に出かけました。歩く距離はメンバーの体調を見極めて当日に確定することにしました。

1日目コース



不動滝

4-2-2-1. 和紙の里・武蔵嵐山ルート

6月19日は1日目の「和紙の里・武蔵嵐山」ルートを確認しました。東秩父村を含むこの最長50Kmのコースは3日間が一番森林を楽しむことができるコースだと感じました。

3日目コース



コース内の
くらかけ橋を
確認中

4-2-2-2. 都幾川・千年谷公園ルート

7月10日は3日目の「都幾川・千年谷公園ルート」を確認しました。

4-2-3. プレウォークへの参加

7月17日にウォーキングセンターで実施された、「快適ウォーキング教室」に参加しました。これは、「スリーデーマーチ100日前イベント」と銘打たれたプレウォークです。国際交流が参加目的ではあるものの、ウォーキングインストラクターの奥野清歩氏から、エクササイズウォークを学ぶまたとないチャンスです！ダイエット効果も期待できるとのことで真剣に取り組みました。ウォーミングアップストレッチや、代謝の上がる心拍数の他、長距離を歩いても疲れないシューズの履き方まで丁寧にレクチャーを受けて本番に備えました。

7/17

ウォーキングセンター前



4-2-4. スリーデーマーチ・ワンポイント英会話レッスンへの参加

スリーデーマーチにおける具体的な国際交流活動は、外国からの参加者の方々と積極的に挨拶・会話し、交流することです。しかし私達は国際・文化学部に入學したとはいえ、語学に堪能でも留学経験があるわけでもありません。幸いな事に国際交流協会で、「スリーデーマーチ用ワンポイント英会話レッスン」が実施されたため、受講しました。

10/27

英会話レッスン



ネイティブスピーカーの講師の方々と実際に会話することで、スリーデーマーチ本番での交流に自信を持って臨むことができました。それは、上手に会話できなくても、東松山市を訪れてくれた外国の方々に、感謝の意を伝えることが大事だということに気が付いたからです。

4-3. スリーデーマーチ当日の活動

4-3-1. 10km コースに参加

11月2日(土)、11月4日(月)は、ウォーキング中、雨に降られることはありませんでした。参加するコースはメンバー全員で話し合った結果、国際交流を実体験するという課題テーマと、2日間参加することを鑑み、それぞれ無理のない10kmのコースに参加することにしました。

11/2(土) 9:00
元気よくスタート♪



4-3-2. 外国人ウォーカーへのインタビュー

外国人ウォーカーに話しかけるインタビュー内容は、ワンポイント英会話レッスンを参考に事前に準備し、メンバー全員で交代で話しかけました。恥ずかしがらず、より多くの外国の方々に楽しく話しかけ、東松山に来て良かった、と思ってもらえるようにしました。

インタビュー内容

Welcome to Higashimatsuyama-city! 東松山市へようこそ!

Nice to meet you. 初めまして。

Can I talk with you for a while? あなたと少し話しても良いですか?

Where are you from? 出身地はどこですか?

Is this your first visit to Japan(Higashimatsuyama-city)? 日本(東松山市)は初めてですか?

What's the purpose of your stay? 滞在の目的は何ですか?

Where will you visit after Higashimatsuyama-city? 東松山のあと、どこに訪問するつもりですか?

Thank you. Have a nice day.

4-3-3. 1日目の交流活動 (11月2日(土))

インタビュー用のメモを手し、揃いの腕章も左腕に着用して、ウォーキングをスタートしました。スタート地点でスウェーデン人ウォーカー

11/2(土)
オランダ人ウォーカーと♪



の方々にインタビューできた後、この日は計13名の外国の方々とお話しすることができました。

11/2(土)のインタビュー結果

インタビュー地点	出身国	性別/グループ	来日回数	ウォーク後の予定	滞在日数
スタート	スウェーデン	男性	2	観光	5
1 km	オランダ	男性	20	台湾・インドネシア	3
5 km	ノルウェー	男性	1	東京	5
5 km	オランダ	女性	20	観光	9
ゴール	オランダ	女性	2	大阪	5
ゴール	オランダ	男性	1	大阪	5
ゴール	ノルウェー	男性2名、女性1名	3	東京・台湾	3
ゴール	ノルウェー	夫妻		詳細不明	
ゴール	イギリス	男性	1	東京	5
ゴール	カナダ	男性(東中学校ALT)	1	箭弓神社	長期

ウォーキング中はなかなか機会に恵まれませんでしたが、5 km地点の中間ポイントとゴール後に次々とインタビューに成功しました。お話できなかった方や、ウォーカーではない東中学校のALTの方に話かけたこともありましたが、概ね完歩した達成感からか、快くインタビューに応じていただけたのは、日本人に話かけられるのを楽しんでいらっしやるからだと感じました。

11/2 (土)
イギリス人ウォーカーと♪



4-3-4. 3日目の交流活動 (11月4日 (月))

11/4 (振休) のインタビュー結果

インタビュー地点	出身国	性別/グループ	来日回数	ウォーク後の予定	滞在日数	
スタート	スウェーデン	男性	5	帰国	20	
スタート	アメリカ	女性	2	熊野古道	-	
1 km	ドイツ	男性4名	1	帰国	7	
5 km	オランダ	夫妻	1	台湾	7	
6 km	スウェーデン	男性	2	帰国	5	
ゴール	ノルウェー	男性	2	東京・台湾	7	
ゴール	ノルウェー	女性	1	東京・台湾	7	
ゴール	スペイン	女性	東松山在住5年、ウォーク参加は初めて			
ゴール	イギリス	男性	14	帰国	20	

初日 (11月2日) の交流活動結果より、外国人ウォーカーの方は比較的30 km以上の長距離を歩いている方が多いため、ウォーキング途中よりも、スタート・中間ポイントや、ゴールでインタビューできることがわかりました。そのためコースの途中は純粋にウォーキングを楽しむことにし、

クリーンウォーカー のお嬢さんたち♪



各地から参加してくれた親子連れやシニアの方、クリーンウォーカーのお嬢さん達、日本人ウォーカーの方々とも会話を楽しみました。そしてゴール後にも外国人ウォーカーの方達にインタビューを実施して、2日間の交流活動を終了しました。

11/4 (振休)
アメリカ人ウォーカーと♪



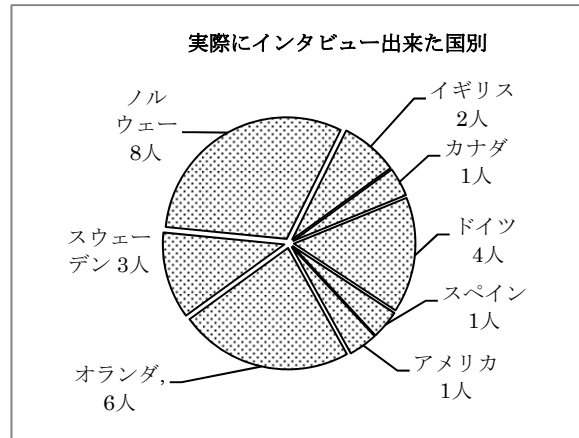
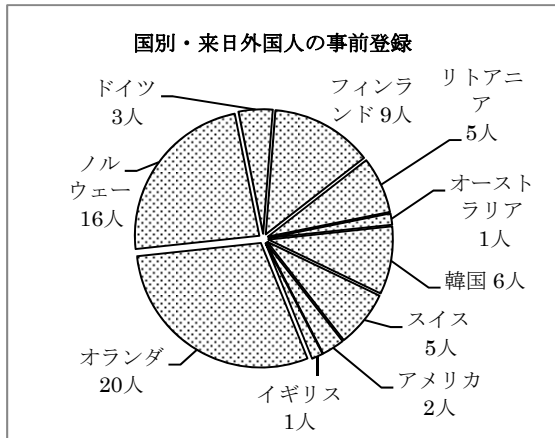
11/4 (振休) 8km地点



あと一息♪

4-3-5. インタビュー総括

公式プログラムによると、事前登録された外国人ウォーカーは63名で、オランダの20名を筆頭に10か国からの参加者がありました。幸いなことに、私達は当日登録されたスウェーデンの方々ともインタビューできました。また、現在、東松山に在住しているスペインやカナダ出身の方にもお会いすることができました。



来日回数については、26名中10名の方が初来日でした。円安の影響からか、複数回来日された方々も、滞在日数を増やしたり、あるいはスリーデーマーチ後、日本以外のアジア諸国を観光するという方もいらっしゃいました。失礼にあたるかと思いますが、インタビューでは年齢はお尋ねしませんでした。外国人ウォーカーの年代はこのような観光が可能な、シニア層が多かったということです。意外だったのは実際にインタビューできたのが、姉妹都市のナイメーヘン市があるオランダよりも、ノルウェーの方々の方が多かったことです。

4-4. 日本スリーデーマーチに参加して～③チームメンバーコメント

スリーデーマーチは賑やかで楽しいです。外国の方の参加があるので、なお楽しいです。勇気を出してたずねた5つ位の短い質問にも、笑顔で楽しそうに答えてくださり、ほんとに嬉しくなりました。もっと英語が話せればなあ……。私にとって初体験の良い思い出となりました。

北村佳世子

ウォーキングは万国共通、誰でもが楽しめるスポーツです。よく小学生・中学生が外国人を見つけては、サインをもらったり、バッヂの交換をしたり、写真を撮り合ったりしています。まさにそれが、国際交流ではないか、と思います。

工藤幸江

清水川弘美

仲間達と楽しく歩きながら、外国の方々へウェルカムコールを行いました。一昨年の震災後、海外では未だ日本に対する風評被害もある中、東松山に来てくれた外国の方々へ感謝する気持ちを込めました。この身近な国際交流は、大変嬉しい、貴重な体験でした。

関口喜明

今回、東松山市の日本スリーデーマーチに参加し、国際交流とは世界各国・全国各地の参加者、何より異文化と触れ合うことだと感じました。また60数年前の懐かしい思い出の風景に、健康とロマンを歩き、新たな発見と出会えた楽しい二日間でした。



4-5. まとめ

英語で外国の方に話しかけよう！というのは、私達にとって少々ハードルの高い挑戦でした。楽しく歩き、話しかける準備をして当日に備えましたが、全体で数万人の参加者が見込まれるスリーデーマーチで、どれだけの外国人ウォーカーに出会えるか、また会話に応じてもらえるものか不安でした。しかし、片言の英単語を笑顔で語る日本人を、これも笑顔で迎えてくれた、心優しき外国人ウォーカーの方々に感謝・感謝の連続でした。結局、2日間合計で、なんと26名の方々にインタビューやウェルカムコールを実施することができました！歩くだけで楽しいスリーデーマーチに、外国の方に話しかけるという新たな楽しみ方が加わり、この研究を無事『完歩』することができました。

パレードでの
森田市長と
増田明美氏



【参考資料・協力いただいた機関】

- ・東松山市ホームページ
- ・東松山市国際交流協会

5. 課題研究を終えて

私達は極めて領域の広い『国際交流』をメインテーマに掲げ、自分達で完結出来るような具体的な国際交流活動を3件選択し、活動してきました。

①チームの『世界の食文化』では、料理そのものには馴染みがあるものの、それぞれの食事マナーや習慣などに新鮮な発見があり、広い意味での食文化を理解出来たと思います。外国の方と出会ったら、その方の母国の料理から話題にすることが出来るものと自負しています。国際交流は先ず料理から着手です。

②チームの『ALTと留学生の意識調査』では、今後ますます要求される日本人の国際化を担う小中学生の英語教育をネイティブの立場で支援してくれている外国語指導助手、及び日本を体験し母国へ帰国後、日本の強力な理解者になってくれる留学生に対して、彼らの本音を知りたくて活動してきました。勿論、完璧ではありませんが、彼らの日本に対する“思い”を共有できたものと思います。この共有認識に基づいて国際交流に積極的に参加する積りです。

③チームの『日本スリーデーマーチによる国際交流』では、日頃外国の方人と接する機会のない私達が、市を挙げての大きなイベントを利用し、ささやかなインタビューをきっかけに外国人参加者と楽しく語り、共に歩くことを期待して準備に取り組んできました。今回の外国人参加者へのインタビューを通して、国際交流に必要なことは言葉より先ずは笑顔とおもてなしの心であることを体験しました。小さな体験でしたがこれからの国際交流に勇気を持って参加する積りです。

最後に、私達の課題研究に協力して頂いた皆様に厚くお礼申し上げます。